

令和6年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード		S04-01-01	
施設名		南千住区民事務所			
所在地		南千住七丁目1番1号アクレスティ南千住2階			
部課名		区民生活部区民課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日		平成22年2月1日		区職員	その他
供用開始年月日		平成22年3月29日	職員数	16	
構造		鉄骨鉄筋コンクリート造	階層	地上28階、地下1階建のうちの2階部分	
面積	敷地面積		アクレスティ南千住敷地内		
	延床面積		183		
設置目的・経緯		地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る			
関連部署					
根拠法令等 設置条例		荒川区庁舎管理規則			
駐車場の状況		無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況		56台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	住民基本台帳事務・印鑑登録事務・戸籍謄抄本等交付事務・税務(収納・証明・仮払バー)事務・住居表示諸証明事務・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務・国民年金事務・乳幼児・子ども医療に関する事務・母子健康手帳交付事務・狂犬病予防注射済証明・建物新築・変更届事務・ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務・地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分(水曜日は午後7時まで)				
	休日	土曜日・日曜日・祝日・年末年始(毎月第2・4日曜日は午前9時～正午まで開所)				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	取扱件数(件)	39,859	35,854	31,468	30,207	29,000
	開所日数(日)	267	266	267	267	267
に指定 する管理 費						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

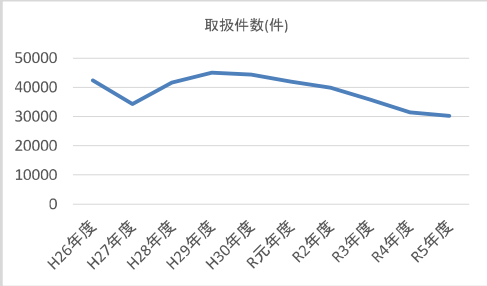
行政コスト計算書		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	93,760	94,182	422	地方税等	0	0	0
		物件費	2,947	2,360	▲ 587	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	1,166	5	▲ 1,161	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	1,969	2,142	173	使用料及び手数料	7,968	7,490	▲ 478
		減価償却費	1,875	1,875	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,968	7,490	▲ 478
		賞与・退職給与引当金繰入額	7,041	17,050	10,009	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 100,790	▲ 110,124	▲ 9,334
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	108,758	117,614	8,856	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 100,790	▲ 110,124	▲ 9,334
貸借対照表	流動資産	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 100,790	▲ 110,124	▲ 9,334
	固定資産	収入未済	0	0	0	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
		不納欠損引当金	0	0	0	流動負債	4,473	5,343	870
		その他の流動資産	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		有形固定資産	45,069	43,194	▲ 1,875	特別区債	0	0	0
		土地	0	0	0	賞与引当金	4,473	5,343	870
		建物	69,444	69,444	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 24,375	▲ 26,250	▲ 1,875	固定負債	71,920	81,927	10,007
		工作物等	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	71,920	81,927	10,007
		無形固定資産	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
備考		建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	76,393	87,270	10,877
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 31,324	▲ 44,076	▲ 12,752
		資産の部合計	45,069	43,194	▲ 1,875	正味財産の部合計	▲ 31,324	▲ 44,076	▲ 12,752
						負債及び正味財産の部合計	45,069	43,194	▲ 1,875

令和4年度に電話交換設備を修繕したため、令和5年度には維持補修費が反動減となっている。
補助費等には、アクレスティ南千住管理組合への管理費が含まれている。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	30	32	35	37.8	40.5
	1㎡当たりコスト(円)	784,355	584,371	595,771	644,284	608,000
	人にかかるコストの割合(%)	96	94	93	95	95
	取扱1件当たりコスト(円)	3,592	2,983	3,456	3,894	4,056
	開所1日当たりコスト(円)	536,270	402,135	407,333	440,502	416,657
	ガス使用量(㎡)	-	-	-	-	-
	水道使用量(㎡)	45	84	70	77	80
	CO2排出量(t)	6.6	6.6	6.6	6.4	6.4
備考	給与関係費、賞与・退職給与引当金繰入額の増加により、開所1日あたりのコストが増加している。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 実績値	— 39,859	— 35,854	34,000 31,468	30,000 30,207	29,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合 ○ 廃止				
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口						
現状・課題	○区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努める。 ○アクレスティ南千住管理組合と調整を図りながら、管理運営を行っていく必要がある。						
課題に対する 現時点での考え	○今後も、アクレスティ南千住管理組合と調整を図っていく。						
議会、利用者等 からの意見							



I 施設の概要		施設コード		S04-01-02		
施設名		(旧) 町屋区民事務所				
所在地		町屋二丁目8番9号				
部課名		区民生活部区民課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位: 千円)	財源内容 (単位: 千円)		
				国・都	区債	一般財源
		建築				
		増改築①				
増改築②						
併設施設						
竣工年月日		昭和41年3月23日		区職員	その他	
供用開始年月日		昭和41年4月4日		職員数	0	
構造		鉄筋コンクリート造		階層	地上3階	
面積		敷地面積		165.81㎡		
		延床面積		300.25㎡		
設置目的・経緯		地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区庁舎管理規則				
駐車場の状況		無	バリアフリー	○ エレベーター	○ トイレ	
駐輪場の状況		0台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮払)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、狂犬病予防注射済証明、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	取扱件数(件)	35,866	29,939	26,915	12,922	-
	開所日数(日)	243	242	243	129	-
に指定 に係る 管理 費						
備考	令和5年10月10日にセンターまちや4階へ移転し、閉所した。					

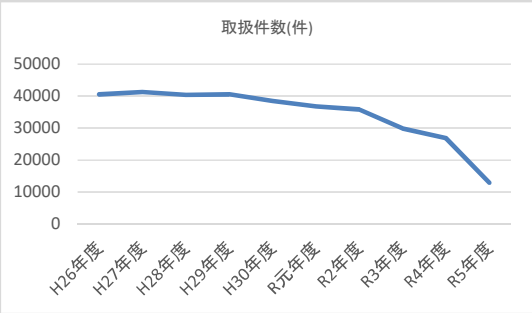
行政コスト計算書	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	行政費用	給与関係費	76,649	45,055	▲ 31,594	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	3,354	2,109	▲ 1,245		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	136	128	▲ 8		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	12	12	0		使用料及び手数料	6,465	3,192	▲ 3,273		
		減価償却費	0	0	0		その他	0	39	39		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	6,465	3,231	▲ 3,234		
		賞与・退職給与引当金繰入額	5,756	8,156	2,400		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 79,442	▲ 52,229	27,213		
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0				
行政費用合計(b)	85,907	55,460	▲ 30,447	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 79,442	▲ 52,229	27,213					
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 79,442	▲ 52,229	27,213					
貸借対照表	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		3,657	2,556	▲ 1,101		
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0		
	固定資産	有形固定資産	6,500	6,500	0	固定負債	賞与引当金	3,657	2,556	▲ 1,101		
		土地	6,500	6,500	0		その他の流動負債	0	0	0		
		建物	14,300	14,300	0		固定負債	58,795	39,193	▲ 19,602		
		建物減価償却累計額	▲ 14,300	▲ 14,300	0		特別区債	0	0	0		
		工作物等	0	0	0		退職給与引当金	58,795	39,193	▲ 19,602		
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0		
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計		62,452	41,749	▲ 20,703			
建設仮勘定		0	0	0	正味財産		▲ 55,952	▲ 35,249	20,703			
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計		▲ 55,952	▲ 35,249	20,703			
資産の部合計	6,500	6,500	0	負債及び正味財産の部合計	6,500	6,500	0					

備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。 行政収入の使用料及び手数料（ひろは館等の使用料及び証明書発行手数料等が含まれる）については、町屋区民事務所が移転する令和5年10月10日以前（約半年分）の金額である。
----	--

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	-
	1㎡当たりコスト(円)	391,534	277,888	286,118	184,713	-
	人にかかるコストの割合(%)	97	96	96	96	-
	取扱1件当たりコスト(円)	3,278	2,787	3,192	4,292	-
	開所1日当たりコスト(円)	483,778	344,777	353,527	429,922	-
	ガス使用量(㎡)	43	43	43	20	-
	水道使用量(㎡)	173	174	177	88	-
	CO2排出量(t)	13	13	13	7	-
備考	ガス・水道使用量、CO2排出量については、町屋区民事務所が移転する令和5年10月10日以前(約半年分)の数字のため、半減している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有		(計画名:)					
目標指標	指標名・単位			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	取扱件数(件)		目標値	—	—	28,000	13,000	—
			実績値	35,866	29,939	26,915	12,922	—
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化	○ 民営化	● 他施設との統合			● 廃止		
	○ 現状維持	○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:)							
	● 無							
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口							
現状・課題	○令和5年10月10日にセンターまちや4階へ移転した。							
課題に対する現時点での考え								
議会、利用者等からの意見								



I 施設の概要		施設コード	S04-01-10	
施設名	町屋区民事務所			
所在地	荒川七丁目50番9号センターまちや4階			
部課名	区民生活部区民課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
	建築			
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	平成8年6月1日		区職員	その他
供用開始年月日	令和5年10月10日	職員数	12	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上4階	
面積	敷地面積	センターまちや敷地内		m
	延床面積	596		m
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則			
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	22台	対応状況	点字ブロック	● スロープ



管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	住民基本台帳事務・印鑑登録事務・戸籍謄抄本等交付事務・税務(収納・証明・仮ナンバー)事務・住居表示諸証明事務・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務・国民年金事務・乳幼児・子ども医療に関する事務・母子健康手帳交付事務・狂犬病予防注射済証明・建物新築・変更届事務・ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務・地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	取扱件数(件)	-	-	-	11,879	24,000
	開所日数(日)	-	-	-	114	243
に指定 用係 等 管 費 理						
備考	令和5年度の取扱い件数と開所日数は、移転日である10月10日以降(約半年分)の数値である。					

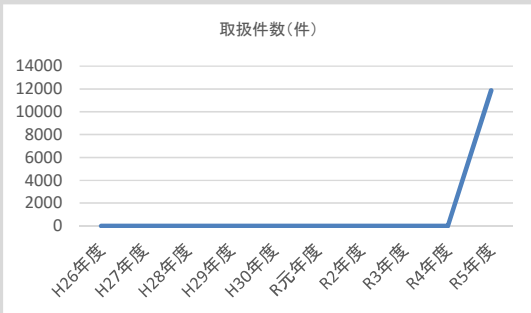
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係係費		39,954	39,954	地方税等		0	0	
	物件費		4,180	4,180	国庫支出金		0	0	
	維持補修費		1,033	1,033	都支出金		0	0	
	扶助費		0	0	分担金及び負担金		0	0	
	補助費等	13,897	13,897	使用料及び手数料	2,791	2,791			
	減価償却費	19,392	19,392	その他	0	0			
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	行政収入合計(a)	0	2,791	2,791		
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,233	7,233	行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲ 82,898	▲ 82,898		
	その他行政費用	0	0	金融収支差額(d)		0	0		
	行政費用合計(b)	0	85,689	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲ 82,898	▲ 82,898		
特別費用(g)	0	0	特別収入(f)		0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲ 82,898	▲ 82,898		
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	0	2,267	2,267	
		不納欠損引当金	0	0		還付未済金	0	0	
		その他の流動資産	0	0		特別区債	0	0	
	固定資産	有形固定資産	263,604	263,604		賞与引当金	2,267	2,267	
			土地	0	0		その他の流動負債	0	0
			建物	806,572	806,572	固定負債	0	34,756	34,756
			建物減価償却累計額	▲ 542,968	▲ 542,968		特別区債	0	0
			工作物等	0	0		退職給与引当金	34,756	34,756
			工作物等減価償却累計額	0	0		その他の固定負債	0	0
			無形固定資産	0	0	負債の部合計	0	37,023	37,023
		建設仮勘定	0	0	正味財産	0	227,638	227,638	
		その他の固定資産	1,057	1,057	正味財産の部合計	0	227,638	227,638	
	資産の部合計	0	264,661	264,661	負債及び正味財産の部合計	0	264,661	264,661	

行政収入の使用料及び手数料については、町屋区民事務所が移転した令和5年10月10日以降(約半年分)の金額である。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)				65	65
	1㎡当たりコスト(円)				285,392	570,784
	人にかかるコストの割合(%)				55	70
	取扱1件当たりコスト(円)				7,213	3,570
	開所1日当たりコスト(円)				751,658	352,630
	ガス使用量(㎡)				-	-
	水道使用量(㎡)				520	860
	CO2排出量(t)				-	-
備考	1㎡当たりコストと人にかかるコストの割合に関して、R5年度は約半年分の経費だが、R6年度（見込み）は1年分の経費である。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	取扱件数（件）	目標値 実績値	-	-	-	-
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 現状維持 民営化 その他() ○ 他施設との統合 廃止					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	○区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努める。 ○建物を管理しているセンターまちや管理組合と調整を図りながら、運営を行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○今後も、センターまちや管理組合と調整を図っていく。					
議会、利用者等からの意見						



令和6年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-03
施設名	尾久区民事務所		
所在地	西尾久三丁目7番15号		
部課名	区民生活部区民課		
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)
			国・都 区債 一般財源
	建築		
	増改築①		
	増改築②		
併設施設			
竣工年月日	昭和50年12月25日		区職員 その他
供用開始年月日	昭和51年2月2日	職員数	13
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上3階
面積	敷地面積		250.63㎡
	延床面積		444.00㎡
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る		
関連部署			
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則		
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター ○トイレ
駐輪場の状況	10台	対応状況	○点字ブロック ●スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	住民基本台帳事務・印鑑登録事務・戸籍謄抄本等交付事務・税務(収納・証明・仮払バー)事務・住居表示諸証明事務・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務・国民年金事務・乳幼児・子ども医療に関する事務・母子健康手帳交付事務・狂犬病予防注射済証明・建物新築・変更届事務・ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務・地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日・日曜日・祝日・年末年始				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	取扱件数(件)	31,598	27,641	25,611	23,383	22,000
	開所日数(日)	240	243	242	243	243
に指定 用係等 管理 費理						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

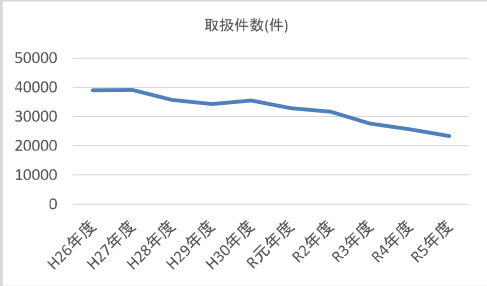
行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	R4年度	R5年度	差額	R4年度		R5年度	差額		
	給与関係費	80,830	81,125	295		地方税等	0	0	0
	物件費	3,699	3,084	▲ 615		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	972	1,449	477		都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	6	6	0		使用料及び手数料	6,112	5,542	▲ 570
	減価償却費	0	576	576		その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	6,112	5,542	▲ 570
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,070	14,686	8,616		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 85,465	▲ 95,384	▲ 9,919
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	91,577	100,926	9,349		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 85,465	▲ 95,384	▲ 9,919
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 85,465	▲ 95,384	▲ 9,919
貸借対照表	勘定科目				勘定科目				
	R4年度	R5年度	差額	R4年度	R5年度	差額			
	収入未済	0	0	0	流動負債	3,856	4,602	746	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	55,471	54,895	▲ 576	賞与引当金	3,856	4,602	746	
	土地	41,664	41,664	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	92,097	92,097	0	固定負債	62,002	70,569	8,567	
	建物減価償却累計額	▲ 78,290	▲ 78,866	▲ 576	特別区債	0	0	0	
	工作物等	1,287	1,287	0	退職給与引当金	62,002	70,569	8,567	
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,286	▲ 1,286	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	65,858	75,171	9,313	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 10,387	▲ 20,276	▲ 9,889	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 10,387	▲ 20,276	▲ 9,889	
資産の部合計	55,471	54,895	▲ 576	負債及び正味財産の部合計	55,471	54,895	▲ 576		

備考 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。
建物の老朽化によって小破修繕等の維持補修費が増加している。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	85	85.8	85
	1㎡当たりコスト(円)	263,475	226,394	206,255	227,311	220,000
	人にかかるコストの割合(%)	97.0	97.0	97.0	94.9	96
	取扱1件当たりコスト(円)	3,702	3,637	3,576	4,316	3,843
	開所1日当たりコスト(円)	481,412	415,368	378,417	415,333	403,000
	ガス使用量(㎡)	84	70	84	84	79
	水道使用量(㎡)	237	215	210	221	215
	CO2排出量(t)	15	15	15	13	13
備考	給与関係費、賞与・退職給与引当金繰入額の増加により、開所1日あたりのコストが増加している。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 実績値	— 31,598	— 27,641	26,000 25,611	24,000 23,383	22,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合 ○ 廃止				
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口						
現状・課題	○施設の老朽化が進み、全体的に狭く、駐輪場が不足しており、バリアフリー化が進んでいない。 ○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○区民が快適に利用できるようにバリアフリー化の推進や駐輪場の確保に努め、誰もが利用しやすい機能の確保に努める必要がある。						
課題に対する 現時点での考え	○建替えや移転も含め検討していく。						
議会、利用者等 からの意見							



I 施設の概要		施設コード		S04-01-11		
施設名	日暮里区民事務所					
所在地	東日暮里六丁目17番6号					
部課名	区民生活部区民課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
			国・都	区債	一般財源	
			建築			
			増改築①			
増改築②						
併設施設						
竣工年月日	令和2年11月11日			区職員	その他	
供用開始年月日	令和3年1月4日		職員数	12		
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上1階		
面積	敷地面積		724		m ²	
	延床面積		2,019		m ²	
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則					
駐車場の状況	1台	バリアフリー 対応状況	● エレベーター	● トイレ		
駐輪場の状況	10台		● 点字ブロック	● スロープ		



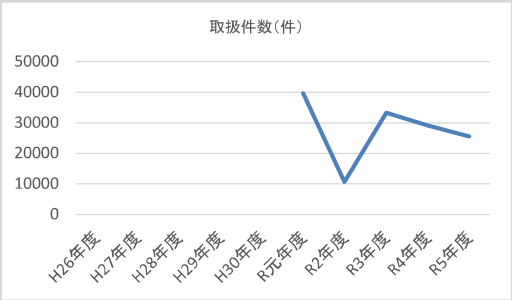
管理運営の状況						
管理形態	直営	-	期間	-	-	から まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮納付)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、狂犬病予防注射済証明、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	取扱件数(件)	10,629	33,346	29,069	25,540	24,000
	開所日数(日)	60	243	242	243	243
に指定 等管理 費						
備考	令和2年度は施設が移転した令和3年1月以降の取扱件数および開所日数である。					

勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	71,164	71,164	地方税等	0	0	0	
	物件費	0	15,620	15,620	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	5,893	5,893	
	減価償却費	0	16,041	16,041	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	5,893	5,893	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	12,883	12,883	行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲ 109,815	▲ 109,815	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	▲ 54	▲ 54	
	行政費用合計(b)	0	115,708	115,708	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲ 109,869	▲ 109,869	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲ 109,869	▲ 109,869		
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目		R4年度	R5年度	差額
貸借対照表	流動資産	0	0	0	流動負債	0	4,044	4,044	
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	7	7	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	4,037	4,037	
	固定資産	0	348,843	348,843	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	0	44,921	44,921	
	建物	0	396,965	396,965	特別区債	0	▲ 16,983	▲ 16,983	
	建物減価償却累計額	0	▲ 48,122	▲ 48,122	退職給与引当金	0	61,904	61,904	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	48,965	48,965	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	0	299,878	299,878	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	0	299,878	299,878	
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	348,843	348,843	
	資産の部合計	0	348,843	348,843					
備考	行政収入の使用料及び手数料については、ひろば館等の使用料及び証明書発行手数料等である。								

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)				12	12
	1㎡当たりコスト(円)				279,387	279,387
	人にかかるコストの割合(%)				73	73
	取扱1件当たりコスト(円)				4,530	4,821
	開所1日当たりコスト(円)				476,165	476,165
	ガス使用量(㎡)				-	-
	水道使用量(㎡)				186	186
	CO2排出量(t)				-	-
備考	有形固定資産減価償却率については、固定資産の建物減価償却累計額を建物で割った値である。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	取扱件数 (件)	実績値	-	-	-	30,000	24,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止			
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口						
現状・課題	○区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努めている。						
課題に対する現時点での考え	○今後も、区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努める。						
議会、利用者等からの意見							



1 施設の概要		施設コード		S04-01-08	
施設名	宮の前ひろは館				
所在地	東尾久五丁目45番11号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築					
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和44年3月22日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和44年6月1日	職員数	0人	0人	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上4階建のうち1階部分		
面積	敷地面積	308.46㎡			
	延床面積	185.22㎡			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろは館条例・同施行規則 荒川区区民ひろは館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	○エレベーター ○点字ブロック	○トイレ ●スロープ	
駐輪場の状況	無				



管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	貸室利用者数(人)	-	-	-	-	-
	開館日数(日)	265	358	358	360	358
に指定 する管理 費理						
備考	〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

行政コスト計算書	勘定科目			勘定科目				
	R4年度	R5年度	差額	R4年度	R5年度	差額		
行政費用	給与関係費	0	0	0	0	0		
	物件費	1,187	1,237	50	0	0		
	維持補修費	301	0	▲ 301	0	0		
	扶助費	0	0	0	0	0		
	補助費等	0	0	0	0	0		
	減価償却費	0	0	0	0	0		
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0		
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0		
	その他行政費用	0	0	0	0	0		
	行政費用合計 (b)	1,488	1,237	▲ 251	0	0		
特別費用 (g)	0	0	0	0	0			
特別収支差額 (f) - (g) = (h)	0	0	0	0	0			
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	41	41	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	41	41	0	固定負債	0	0	0
	建物	15,169	15,169	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 15,169	▲ 15,169	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	41	41	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	41	41	0	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	41	41	0	
資産の部合計	41	41	0					
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料（清掃等）である。							

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1㎡当たりコスト(円)	6,004	8,098	8,034	6,679	7,603
	経費に占める収入の割合(%)	4	4	8	7.4	6
	開館1日当たりコスト(円)	4,196	4,190	4,156	3,436	3,446
備考	近年、施設の老朽化に伴って修繕を実施しているため、維持補修費が増加し、1㎡当たりコストが高止まりしている。しかし、R5年度に関しては修繕の実績がないため、減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	☐ 無 ☒ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		実績値	—	—	—	—
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☒ 廃止 ☒ 現状維持 ☐ その他()					
管理形態の変更の推移	☐ 有 (変更内容:) ☒ 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	○施設・設備の老朽化により、随時修繕を行う必要がある。 ○利用者の使用実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 ○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。 ○敷地東側の道路拡幅が計画されており、整備計画の検討が課題である。					
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。					
議会、利用者等からの意見						

I 施設の概要

施設コード

S04-01-05

施設の概要		施設名		004-01-00	
施設名		南千住区民事務所西部ひろは館			
所在地		南千住一丁目19番13号			
部課名		区民生活部区民課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日		昭和42年3月24日		区職員	その他
供用開始年月日		昭和42年4月1日	職員数	0人	0人
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上3階	
面積		敷地面積		202.82㎡	㎡
		延床面積		361.64㎡	㎡
設置目的・経緯		地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供			
関連部署					
根拠法令等 設置条例		荒川区区民ひろは館条例・同施行規則 荒川区区民ひろは館管理運営要綱			
駐車場の状況		無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ
駐輪場の状況		15台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ



管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	開館日数(日)	265	358	358	360	358
に指定 する管理 費						
備考	〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

(単位：千円)

		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与と関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	1,615	1,559	▲ 56	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	315	315	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	144	156	12
		減価償却費	428	428	0	その他	103	104	1
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	247	260	13
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,796	▲ 2,042	▲ 246
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	2,043	2,302	259	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,796	▲ 2,042	▲ 246
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,796	▲ 2,042	▲ 246		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	13,501	13,073	▲ 428	賞与引当金	0	0	0
		土地	215	215	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	31,184	31,184	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 17,898	▲ 18,326	▲ 428	特別区債	0	0	0
		工作物等	630	630	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 630	▲ 630	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	13,501	13,073	▲ 428
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	13,501	13,073	▲ 428
		資産の部合計	13,501	13,073	▲ 428	負債及び正味財産の部合計	13,501	13,073	▲ 428

備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料（清掃等）である。固定資産に建物価格が残っているのは、平成28年度に外壁及び屋上防水改修工事を行ったためである。その他の収入は使用許可している更生保護少年センターの光熱水費（電気料金）の受入れである。
----	---

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	56	57	58	59.6	61
	1㎡当たりコスト(円)	5,859	5,284	5,649	6,365	5,766
	経費に占める収入の割合(%)	6	10	12	11.3	11.3
	開館1日当たりコスト(円)	7,996	5,338	5,707	6,394	5,813
備考	維持補修費増により、1㎡当たりコストと開館1日当たりコストが増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	☒ 無 ☐ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	—	目標値 実績値	— —	— —	— —	— —	— —
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☐ 廃止 ☒ 現状維持 ☐ その他()						
管理形態の変更の推移	☐ 有 (変更内容:) ☒ 無						
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供						
現状・課題	○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○利用者の実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 ○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要

施設コード

S04-01-06

施設名	町屋区民事務所ひろば館			施設コード	004 01 00
所在地	町屋二丁目8番9号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築					
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和41年3月23日			区職員	その他
供用開始年月日	昭和41年4月4日		職員数	0人	0人
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上3階建のうち2階部分	
面積	敷地面積		町屋区民事務所敷地内		
	延床面積		48.00㎡(貸室面積)		
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	区民事務所共用	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	開館日数(日)	265	358	358	192	-
に指定 等 管理 費理						
備考	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。 ○令和5年9月30日に施設を廃止した。					

(単位：千円)

行政コスト計算書		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	
	物件費	0	32	32	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	148	45	▲ 103	
	減価償却費	0	0	0	その他	86		▲ 86	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	234	45	▲ 189	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	234	13	▲ 221	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	0	32	32	通常収支差額(c)+(d)=(e)	234	13	▲ 221	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	234	13	▲ 221		

貸借対照表		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	0	0	0	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0	
	資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	

備考 行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。
貸借対照表の固定資産については、（旧）町屋区民事務所に記載している。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	250	42	0	667	-
	経費に占める収入の割合（％）	1,558	10,600	-	140.6	-
	開館1日当たりコスト(円)	45	6	0	167	-
備考	令和4年度は修繕実績もなく行政費用合計額が減少しているため、1㎡当たりコスト及び開館1日あたりのコストが例年と比較して低くなっている。					
	令和5年度は施設を廃止した9月までの半年間の実績である。					

計画の有無	☒ 無 ☐ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	—	目標値 実績値	=	=	=	=	=
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☒ 廃止 ☐ 現状維持 ☐ その他()						
管理形態の変更の推移	☐ 有 (変更内容:) ☒ 無						
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供						
現状・課題	○令和5年9月30日に施設を廃止した。						
課題に対する現時点での考え							
議会、利用者等からの意見							

令和6年度 施設分析シート

1 施設の概要		施設コード		S04-01-09	
施設名		尾久区民事務所ひろば館			
所在地		西尾久三丁目7番15号			
部課名		区民生活部区民課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和50年12月25日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和51年2月2日	職員数	0人	0人	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上3階建のうち2・3階部分		
面積	敷地面積	尾久区民事務所敷地内 m ²			
	延床面積	111.51 m ² (貸室面積) m ²			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則				
設置条例	荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	区民事務所共用	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	貸室利用者数（人）	-	-	-	-	-
	開館日数（日）	265	358	358	360	359
に指定する管理費理						
備考	〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	0	66	66	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1	0	▲ 1	使用料及び手数料	104	132	28
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	104	132	28
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	103	66	▲ 37
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1	66	65	通常収支差額(c)+(d)=(e)	103	66	▲ 37
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	103	66	▲ 37
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債			
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0
	資産の部合計	0	0	0				

備考 行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。
貸借対照表の固定資産については、尾久区民事務所に記載している。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	126	1,130	9	592	242
	経費に占める収入の割合(%)	857	50	82	200.0	66
	開館1日当たりコスト(円)	53	352	3	183	80
備考	令和5年度は物件費が増加したため、1㎡当たりコスト及び開館1日当たりコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有	(計画名:)
目標指標	指標名・単位	R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度(見込み)
	—	目標値 実績値
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他() ● 他施設との統合 ○ 廃止
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無	
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供	
現状・課題	○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○利用者実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 ○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。	
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。	
議会、利用者等からの意見		